15
-中・西部-

粉川（こかわ）　妙（たえ）

イタリア食堂ベケ!? オーナーシェフ

応募のきっかけは？

イタリア在住時から、「地方が国を豊かにする」をモットーにライターや旅行業、通訳に携わっていました。2016年、イタリア人の夫がかねてから希望していた日本移住の話が持ち上がり、総務省HPで赴任地を探しました。協力隊はかなり前から知っていて、「移住の入り口としてまずなってみよう」と思い、応募しました。

どんな活動をしたいと思っていましたか？

アートや食、歴史関連での地域おこしをしたいと思っていました。

隊員時代：
大殿小学校PTA父兄へ蛍かご製作の手順を説明

隊員時代の思い出を教えてください

地域のために活動している団体が多様で、非常に勉強になりました。活動地域の「大殿」は文化、史跡のリソースが豊富で、自分の興味に対し協力してくださる方々も多く、助けられました。大殿を「『蛍かご』で交流人口を増やす」というミッションのもと、蛍かごワークショップや蛍かごを町家の軒先に吊るす活動を行いました。

感動したことは、「蛍かごマイスター」を公募し集ったメンバーが、私の卒業後も任意団体として活動を続けてくれていることです。蛍かごを軒先に飾ったり、ワークショップをする活動が地域の中で継続しています。

また、「山口を麦でつなぐ」をモットーに活動していたので、名田島の麦農家さんや徳地で蛍かごを教えてくれた夢工房さん、米藁でトイトイづくりを教えてくれた阿東の方など、多くの方と関われ、今も関係が続いているのは財産ですね。

隊員時代：「夢工房」での蛍かご製作

大変だったことは？

行政のルールのもと、活動する上での問題は、市役所の担当者と話し合って解決していきました。

現在、そしてこれからについて

2019年、夫の夢だったレストラン「イタリア食堂ベケ!?」を開店しました。徐々に認知度も上がっています。夫が内装も手がけ、築100年の古民家を活用し本場のイタリア家庭料理が楽しめる空間となっています。10年はレストランと蛍かごの活動を続けたいですね。

▲レストラン「イタリア食堂ベケ!?」

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

山口市は住むのにちょうどよい場所です。自然と文化、利便さがバランスよく、人も温かいです。真面目に活動していれば地域に溶け込めるでしょう。卒業後のビジョンを1年目からしっかり描きながら、3年かけて生業への準備を始めるのがよいですね。ビジョンを話すことで、数年かけて人脈と仲間、よい情報が集まってきますから。山口ライフは楽しいですよ。

粉川（こかわ）　妙（たえ）さん

協力隊として

| 着　任　地 | 山口市
| 活動期間 | 2016年9月～2019年8月
| 活動内容 | アートを核とした交流人口拡大のための誘客事業

現在の仕事

イタリア食堂ベケ!? オーナーシェフ
| ホームページ | https://www.bechee.com/

レストランでのイベント

粉川さんのあゆみ

2005.05	イタリアへの料理留学
2007.	結婚
2014.	日本へ移住希望
2016.09	協力隊着任
2018.03	蛍かごのワークショップ等開催
2019.06	蛍かごとヒンメリを使った展覧会
2019.08	協力隊卒業
2019.10	「イタリア食堂ベケ!?」開業